



爽風 2023

普賢岳災害から。考えて動く。

9月15日(金)は、「普賢岳災害を語り継ぐ日」でした。

32年前の大火砕流による災害時期、その後何年もかかった復興の期間…、思い出そうとしないと当時の様子が浮かんできません。

学校ではこの日に全校集会を開き、地域に起こった噴火災害の状況や当時の人々の思い、命を守る行動等を学び続ける機会としています。

校長講話として、普賢岳噴火で忘れてはならない日、被災された方々の思い、災害に対する備えの話をしました。(誤操作のために動画視聴ができず申し訳なく思います。)

1学期には4年生が『祈りのキャンドル』をつくり、5年生は2月に『雲仙岳災害記念館等の見学』を行います。こういう学習プログラムは、体験活動により災害に対する深い考えを持ち、実践力を身につけてくれることを目的としています。

ですから5年生には、学んできたことを今度は下級生に話して繋いでくれることを期待します。



2学期の目標の状況は……。

始業式の日、5年生の []さんは、「文章の読み取りを深めることと算数の文章問題の解決に力を入れ、進んで勉強することで成長していきたい。」と、同じく []さんは、「1学期にできるようになった割り算や小数の計算、漢字の勉強を続けてがんばることと宿泊学習や餅つきなどの行事を楽しみたい。」と力強く発表してくれました。

2人を含め、全校児童が生活や学習、運動面等ではがんばってできるようになりたいことを2学期の目標として掲げています。教室の掲示としてご覧になった方もいらっしゃるでしょう。早いもので始業式から1か月が経とうとしています。教室では達成状況の確認をしながら自己実現の大切さに結びつけていきます。

運動場の倒木について

三連休中の荒天の影響でしょうか、運動場のアオギリが1本倒れました(葉や実をつけているものの根腐れしていました)。幸い人的な被害もありませんでしたが、市教委と相談のうえ、安全面から緊急的に他にアオギリ1本と県道から入る駐車場側の桜の木も伐採しました。今後アオギリについては段階的に伐採していくことになっていることもお知らせしておきます。

